

ジルビスク皮下注 16.6mg シリンジ
 ジルビスク皮下注 23.0mg シリンジ
 ジルビスク皮下注 32.4mg シリンジ

【この薬は？】

販売名	ジルビスク皮下注 16.6mg シリンジ ZILBRYSQ 16.6mg Syringe	ジルビスク皮下注 23.0mg シリンジ ZILBRYSQ 23.0mg Syringe	ジルビスク皮下注 32.4mg シリンジ ZILBRYSQ 32.4mg Syringe
一般名	ジルコプランナトリウム Zilucoplan Sodium		
含有量 (1シリンジ 中)	ジルコプラン 16.6mg (ジルコプランナ トリウムとして 17.0mg)	ジルコプラン 23.0mg (ジルコプランナ トリウムとして 23.6mg)	ジルコプラン 32.4mg (ジルコプランナ トリウムとして 33.2mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、補体（C5）阻害剤と呼ばれる薬です。
- ・この薬は、補体（免疫系の一つ）を阻害し、神経と筋肉の伝達障害を抑制することにより、症状を改善します。

- ・次の病気の人に処方されます。
全身型重症筋無力症（ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限る）
- ・抗アセチルコリン受容体抗体陽性の場合に使用されます。
- ・この薬は、医療機関において、適切な在宅自己注射教育を受けた患者さんまたは家族の方は、自己注射できます。自己判断で使用を中止したり、量を加減したりせず、医師の指示に従って下さい。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 患者さんやご家族の方は治療開始にあたって、この薬の有効性や注意すべき以下の点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬を使用することにより、免疫系が抑制されるため、髄膜炎菌（ずいまくえんきん）に感染し、致命的な経過をたどることがあります。髄膜炎菌感染症の症状である発熱、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、錯乱、発疹（ほっしん）、出血性皮疹（しゅっけつせいひしん）、まぶしいなどの症状があらわれたら、ただちに医師に連絡してください。
 - ・この薬は病気を完治させるものではありません。
- 上記の感染予防のため、原則、この薬を使用する少なくとも2週間前までに髄膜炎菌ワクチンを接種してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・髄膜炎菌感染症の人
 - ・過去にジルビスクに含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・過去に髄膜炎菌感染症にかかったことのある人
 - ・感染症の人または感染症が疑われる人
 - ・過去に腭炎（すいえん）になったことのある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

使用量は、あなたの体重にあわせて、医師が決めます。

通常、成人の使用する量および回数は、次のとおりです。

体重	投与量	投与回数
56kg 未満	16.6mg シリンジ1本	1日1回
56kg 以上 77kg 未満	23.0mg シリンジ1本	
77kg 以上	32.4mg シリンジ1本	

- ・この薬は、使い始めてから12週使用しても効果が得られない場合は、医師の判断により使用が中止されることがあります。

●どのように使用するか？

- ・皮下注射してください。
- ・自己注射を開始する前には、必ず医師、薬剤師または看護師から自己注射のしかたに関して説明を受けてください。末尾（p.6～）の「自己注射の方法」、自己注射のためのサポートツールである「自己注射ガイドブック」、「自己注射トレーニング動画」などもあわせて参照してください。
- ・注射前には冷蔵庫から取り出し、30分以上平らな場所に置いて、室温に戻してください。その他の方法（電子レンジ、温水、直射日光等）で本剤を温めないでください。
- ・この薬を投与する準備ができるまでキャップをはずさないでください。
- ・注射は、大腿部、腹部または上腕部におこなってください。注射する毎に注射部位を変えてください。同じ注射部位に注射をする場合、前回の注射した部分から少なくとも2.5cm離して注射してください。
- ・皮膚に異常がある部位（押して痛みがある部位、赤み、あざ、硬くなっている部位、あとがある部位）には注射しないでください。
- ・へそから5cm以内には注射をしないでください。
- ・1回の注射について、使用するシリンジは1本です。1回に全量を使用し、再使用しないでください。
- ・使用後の注射器は、ジルビスク専用管理袋へ入れてください。

●使用し忘れた場合の対応

- ・決して2回分を一度に使用しないでください。
- ・気がついた時に、1回分の量を注射してください。その後、翌日からはいつもと同じ時間帯に注射をしてください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用中に、膵炎（すいえん）、血清アミラーゼ、血清リパーゼの上昇があらわれることがあるので、定期的に膵酵素（血清アミラーゼ、血清リパーゼ）を測定するための検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合は、「患者安全性カード」を見せ、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
髄膜炎菌感染症 ずいまくえんきんかんせんしょう	発熱、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、錯乱、発疹（ほっしん）、出血性皮疹（しゅっけつせいひしん）、まぶしい
重篤な感染症 じゅうとくなかんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい

膵炎 <small>すいえん</small>	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐（おうと）、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
重篤な過敏症 <small>じゅうとくなかびんしょう</small>	寒気、ふらつき、汗をかく、発熱、意識の低下、口唇周囲のはれ、息苦しい、かゆみ、じんま疹、発疹

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、寒気、体がだるい、体重が減る、ふらつき、汗をかく
頭部	意識の低下、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくい、錯乱
眼	まぶしい
口や喉	口唇周囲のはれ、吐き気、嘔吐（おうと）、喉が渇く
胸部	息苦しい
腹部	強い腹痛、お腹が張る
背中	背中の痛み
皮膚	かゆみ、じんま疹、発疹、出血性皮疹、皮膚が黄色くなる
便	油っぽい下痢が出る
尿	尿量が増える

【この薬の形は？】

販売名	ジルビスク皮下注 16.6mg シリンジ	ジルビスク皮下注 23.0mg シリンジ	ジルビスク皮下注 32.4mg シリンジ
性状	無色澄明の液		
形状			

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ジルビスク皮下注 16.6mg シリンジ	ジルビスク皮下注 23.0mg シリンジ	ジルビスク皮下注 32.4mg シリンジ
有効成分	ジルコプランナトリウム		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・凍結を避けて、冷蔵庫など（2～8℃）で保存してください。
- ・室温（30℃以下）で保存する場合には、3ヵ月以内に使用してください。
- ・外箱にいった状態で光を避けて保存してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●このくすりの廃棄方法は？

- ・使用済の注射器については、医療機関の指示どおりに廃棄してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ユーシービージャパン株式会社

(<https://www.ucbjapan.com/>)

ユーシービーケアーズ コンタクトセンター

電話：0120-093-189

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝日、会社休日
を除く）

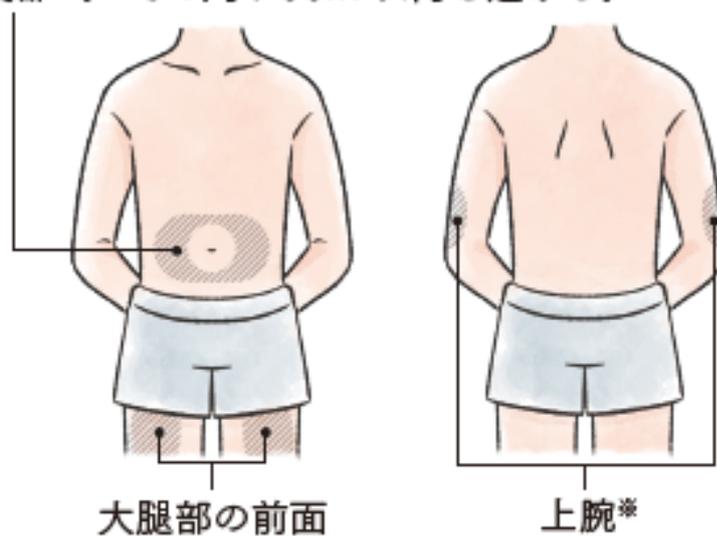
【自己注射の方法】

準備

- ① シリンジと薬液を確認する
- ② 手を洗う
- ③ 注射部位をアルコール綿で消毒する

注射部位

腹部（へその周り5cm以内を避ける）



※上腕部は患者さんご自身で注射しないでください。指導を受けたご家族が注射することは可能です。

注射

- ① ニードルキャップを外す
- ② 皮膚をつまみ45°~90°の角度で針を刺す
- ③ つまんだ皮膚を離してプランジャーを押し込む
- ④ プランジャーから指をゆっくりと離す
- ⑤ カチッという音がしたらシリンジを皮膚から離す
- ⑥ コットンまたはガーゼを押し当て、必要に応じて絆創膏を貼る

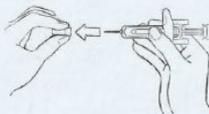
自己注射ガイドブックや自己注射の手順動画で手順を確認しながら自己注射を行ってください。

注射の準備 ①シリンジと薬液を確認する ②手を洗う ③注射部位をアルコール綿で消毒する

注射の手順

① ニードルキャップを外す

針には触れないでください。一度外したキャップは元に戻さないでください。



② 皮膚をつまみ、針を刺す

シリンジを持っていない方の手で、消毒した皮膚をしっかりとつまみ、つまんだ皮膚に対して45°~90°の角度で針を刺します。



③ つまんだ皮膚を離して

ブランジャーを押し込む

針が完全に入ったらつまんだ皮膚を離し、ブランジャーを完全に押し込みます。



④ ブランジャーから指を離す

ブランジャーから指をゆっくりと離すと、カチッという音が1回して、自動的に針がシリンジ内に引き込まれます。注射部位からシリンジを離し、約10秒間コットンまたはガーゼを押し当ててください。必要に応じて絆創膏を貼ってください。



注射の後

① ジルビスク®専用管理袋にシリンジを廃棄します。

② 注射や体調の記録をしましょう。

廃棄方法

使用後のシリンジはジルビスク®専用管理袋へ入れてください。

- シリンジの廃棄は、医療機関・薬局の指示に従ってください。

- ニードルキャップは家庭ごみとして廃棄ができます。

- 使用済みのアルコール綿、コットンやガーゼは医療機関・薬局の指示が特になければ、家庭ごみとして各市区町村の収集方法に従って捨ててください。

自己注射ガイドブック

<https://zilbrysq.ucbcares.jp/patients/gmg/ja/content/1090643312/other-support-tool#self-injection-guidebook>



自己注射トレーニング動画

<https://zilbrysq.ucbcares.jp/patients/gmg/ja/content/1111188169/self-injection-safe#video>



自己注射クイックガイド

<https://zilbrysq.ucbcares.jp/patients/gmg/ja/content/1090643312/other-support-tool#self-injection-quickguide>

